

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 光陽会 放課後等デイサービス ウィッシュ		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 17日		R7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名・32世帯	(回答者数) 25名・25世帯
○従業者評価実施期間	R7年 2月 17日		R7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童の実態に応じた個別課題を準備し活動に取り入れている。その際、支援員間の共通理解もはかられ、勤務シフトによる支援員の変更があっても、質と量を落とすことなくサービスを提供できている。	・外部機関での取り組みも参考に、児童の実態や設定された目的達成のために必要な課題を準備するよう留意・実践している。	・令和7年4月より、事業変更（ウィッシュ休止・メモディ定員10名から定員20名に変更）が行われるが、それ以降も同様のサービスが提供できるよう準備中。また、児童の実態把握等の協議を週または月ごとに計画的に設定し、最新の情報や状態が共有しやすいよう取り組む予定である。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎ルートや時間の多様化に不安を感じている。 ※ 令和7年4月より、同法人経営の放課後等デイサービスと統合となるため困難さが増すと思われる。 (10名定員の2事業所体制が、20名定員の1事業所となるため、配置される人員は実質1名以上の減となるため)	・西都市内の6小中学校、近隣の市町に1小学校2支援学校が送迎対象となっており、対して職員配置が最大で一日3名であるため物理的に困難な状況にある。	・事業統合後も法人全体での協力を仰ぎつつ、自立支援協議会を通して行政機関への問題提起等行っていきたい。
2			
3			